

# 丹生川支所 2 階ビルマルチ空調改修工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
0 1	特記仕様書	
0 2	配置図・案内図	S=1/600
0 3	2 階・R 階平面図（改修前）	S=1/150
0 4	2 階・R 階平面図（改修後）	S=1/150
0 5	3 階電気設備図	S=1/100

※図面の縮尺は A 2 版サイズによるものとする。

設計監理：てらい建築設計

特記仕様書						
工 事 概 要		⑧ 規格・材料選定	設計図書にJIS（日本工業規格）などのマーク表示品と指定された材料及び機器は、それぞれのマーク表示のあるもの又は規格証明書の添付されたものとする。	2. 仮 設 工 事		5. そ の 他
工事名称	丹生川支所 2階ビルマルチ空調改修工事		設計図書に記載のある品番等は全て参考品番であり、本工事に使用する材料の採用に際しては、これらと同等のものとする。	① 監督員事務所	・ m程度 ○ 設けない	① 事前措置
工事場所	高山市丹生川町 地内		同等品の採用に際しては監督員の承諾を受けること。		種 別 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号	あらかじめ関係法令等に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。
区域区分	都市計画：区域外 用途地域：指定なし				備 品 （ ）	(ア)調査は、既存の設計図書、石綿含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査により確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。
構造、規模	RC造一部5造 3階建て 延べ面積：4,016.67㎡					また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。
別途工事	無し	⑨ 工事着手前協議	1）本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。	② 工事用電力・用水	工事用電力 ○ 利用出来る（○有償 ・無償） ・ 利用出来ない 工事用水 ○ 利用出来る（○有償 ・無償） ・ 利用出来ない ※事前に施設管理者に了解を得ること。	なお、分析調査を行う場合は、「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日 基発第0821002号、最終改正 令和3年12月22日 基発1222第17号）に基づき、定性分析を行うこと。
1. 一般共通事項			2）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。	③ 仮囲い・工事区画	・ 波形鉄板 H=1.80m ・ 成形鋼板 H=3.0m ・ シートゲート ・ ガードフェンス H= m ○ バリケード（コーン＋バー（トラ））	(イ)調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。
① 適 用 範 囲	本工事の仕様は現場説明事項（設計説明書を含む以下現場説明書と言う。）、特記仕様書による以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（最新版）〔以下「改標仕」〕建築・電気・機械、建築物解体工事共通仕様書（最新版）〔以下「解共仕」〕による。		3）協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。	④ 工事用進入路	施設管理者と協議の上、施設利用者等の安全を最優先に計画すること。	下記の部分については必要に応じて事前調査を行う。
	設計図書に記載なき場合でも、意匠・構造・設備の機能の上から当然必要と認められるものは、監督員の指示により請負金額の範囲内において施工すること。		4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押しし、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。			飛散性石綿含有建材： 非飛散性石綿含有建材：天井部分（石膏ボード）地下地ロックウール吸音板t12） その他に含有が疑わしき建材がある場合は、調査を行う。
	又、図中明記なき箇所及び疑わしき箇所がある場合は監督員と協議の上承認を得た後に施工すること。	⑩ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価出来る項目として、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。	3. 機械設備工事		
	特記事項は●印の付いたものを適用する。			① 冷媒（フロン系）の回収	冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は「改修標仕」第3編2.4.3によるほか、以下により行うこと。 (1)冷媒の回収は、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」にしたがって行い、監督員に次の書類の写しを提出すること。 (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書 (イ) フロン類回収に携わる者の知見に関する説明書 (ウ) 回収量等に関する報告書 (2)家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクルを行い監督員に次の書類を提出すること。 (ア)「特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）」 撤去する前に、フロンを屋外側ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行う。 (3)パッケージ形空調調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合に おいても上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。 (4)冷媒回収費用は（○本工事 ・別途）とする。 (5) フロン類の充填、回収については、以下の書類を提出すること。 ○ 冷媒充填・回収証明書（新設、撤去時）の写し ○ 冷媒漏えい点検・整備記録簿（新設時）	② 施工時の注意事項
	●印のない場合は※印の付いたものを適用する。	⑪ 電子メールの利用	「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。			本工事の機器改修にあたり施工時に施設を休業はしないので、施設利用者及び施設関係者に支障が無いように安全に施工すること。 空調機器の入れ替えの日程については施設関係者及び監督員と協議し決定とする。 施工にあたり本工事と関係無い部分は、損傷させないように十分注意すること。 疑義や詳細等については監督員と協議にて決定とする。
	●印※印のある場合は共に適用する。					
② 設計図書順位	1）現場説明書 2）特記仕様書 3）設 計 図 4）共通仕様書 5）共通規格及びこれに準ずる規格	⑫ 重点監督対象工事 ⑬ 諸官庁手続き ⑭ 発生材の処理	当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取り扱いによるものとする 工事に必要な申請、届出等の諸手続き及びその費用は請負者にて行うこと。 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理リストを作成の上施設管理者へ引渡す。又、引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項、及び関係法令等に従い適正に処理する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。			1. 本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。 この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例管理技術者、管理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。 2. 受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。 (1) 落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日通知するものとする。 (2) 積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工時期を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。 (3) 契約日から工事開始日の前日までの現場管理は、発注者の責任において行うこととし、受注者は資材の搬入や仮設物の設置等の行為をしてはならない。 (4) 受注時の「工事実績コリス登録」は、工事開始日後に監督員の確認を受け、工事開始日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録機関に登録申請しなければならない。 なお、登録する技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとし、フレックス期間は含まないものとする。 (5) 「現場代理人・技術届」は経歴書を添付して工事開始後、速やかに提出しなければならない。 (6) 契約締結後に工事開始日を変更する必要が生じた場合には、速やかに発注者及び受注者で協議のうえ、工事開始日通知書の変更を提出し、変更契約を締結すること。 (7) 低入札価格調査等により、入札執行通知又は入札公告に記載の工事開始期限日以降に契約締結となった場合には、契約締結日を工事の始期とし、工事の終期は工事開始期限日から工期日数を確保した日とする。
③ 質疑及び軽微な変更	図面、仕様書の内容に相違のある場合、明記のない場合は全て監督員と協議し、その指示により行う。 軽微なものについては、請負金額は増減しないことを原則とする。			② 冷媒（フロン系）の処理	○ 要 都道府県知事の登録を受けたフロン類改修業者に引き渡しを行うこと。 その際にはフロン回収・破壊法に基づき、「フロン回収処理管理票（兼 引取証明書）」の交付を行うこと。 処理費は（○本工事 ・別途）とする。 また、フロン類の処理については、再生証明書又は破壊証明書の写しを提出すること。 ・ 不要	
④ 提 出 書 類	1）A、工事着工時及び工事中 全体施工計画書、現場代理人届、同経歴書、主任技術者届、同経歴書有資格者名簿、材料発注予定表、下請人名簿、工程表、工事費内訳書、火災保険証書、施工図、工作図、その他監督員の指示による。 B、工事完成時 完成届、完成写真、竣工図（原図・製本・CADデータ）、鍵・機器等引渡書、その他材料試験結果、品質性能証明書、各保証書等、その他工事関係書類	⑮ ディーゼルエンジン車両の通正燃料の使用について ⑯ 工事実績情報の登録	再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出すること。（建設副産物情報交換システムCORISを利用すること。） ・ しない ○ する 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次の物は再資源化施設へ搬出する。 ・ コンクリート塊 ・ アスファルト塊 ・ 建設発生木材 ・ 建設汚泥 ・ 石膏ボード 鉄骨、建具、ダクト、配管、機器等の金属類については積極的に再資源化を図る。			
	2）工事写真 着工時―敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影 工事中―進捗状況の撮影記録をすると共に、特に施工後、隠ぺい又は埋設される被写真に巾広テープをそえて撮影する 完成時―全景及び屋内外の主要をカラー撮影	⑰ 登録・保険	○ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。 ○ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。			
	3）竣工図は見開きA3版の製本1部、提出図面は（意匠図、構造図）及びCADデータ			③ 配管材料	冷媒管 断熱材被覆銅管（ ・ 製造者標準仕様 ○ 液管10mmガス管20mm ）	
※：工事書類の簡素化について	実施にあつては「工事書類簡素化要領」（技191号平成22年6月30日改正）に基づいて実施すること。 書類の省略については監督員と協議すること。	⑱ 電気保安技術者	・ 適用する ○ 適用しない	④ 保温及び消音内貼	下記によるほか、標準仕様書第2編3. 1. 4による。 ○ 冷媒管の保温外装は下記による。 （但し、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要） 屋内露出 ・ 保温化粧ケース（材質： ） ・ 合成樹脂製カバー ・ ステンレス鋼板 屋外露出 ・ 保温化粧ケース（材質： ） ・ ｸﾞﾗｰﾍﾞﾙ鋼板 ・ 溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板	
⑤ 工事現場管理	工事現場の安全衛生管理、工事用電力の保安、火災防止は、関係法令に従い適切な処置をすること。	⑲ 施工の検査等	○ 行う ・ 行わない			
⑥ 工事公害	工事搬入撤去による公共道路の清掃、保安、修繕は施工者に於いて行うこと。 工事による周辺の汚損は直ちに修すること。尚、工事公害の解決は施工者に於いて行うこと。	⑳ 現地確認、建物配置	○ 現地にて敷地状況、既存建築物等の状況を確認する。 ・ 建築物等の配置は、縄張りにて監督員立会いのうえ決定する。	4. 電気設備工事		
⑦ 下請契約及び使用資材について	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手側を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。 本工事において、工事材料に係る納入契約をする場合には、当該契約の相手には、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めると共に、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のない物にあつては、岐阜県産）を選定するよう努めること。	㉑ 障害物の処理	・ 地中埋設物の処理にあつては、監督員・関係者の承認を受ける。 ○ 設計図書に記載がなく、工上で必要な仮設、撤去、移設、養生等が発生した場合は、監督員の指示のもとに速やかに対処すること。	① 電気方式	○ 三相3線式200V ○ 単相3線式200V	
				② 配線方法	○ 銅製電線管 ・ 合成樹脂可とう電線管（PＦ） ・ 硬質ビニル電線管（VE） ・ 金属ダクト ・ ケーブルラック ・ 線ひ配線 ○ ケーブル配線	
				② その他	別途機器への接続は、本工事とする。	

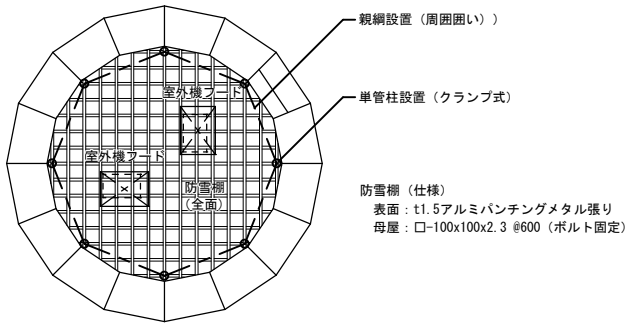
原設計図  
【A2】

工事名	丹生川支所 2階ビルマルチ空調改修工事		
図 名	特記仕様書		
縮 尺	番号	5枚の内 1号	
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			



案内図

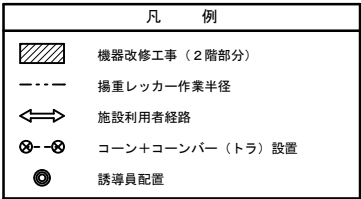
案内図



A部詳細図 S=1:200

A部詳細図 S=1:200

- ※防雪棚の天端高さはGLより15.735m  
※既設室外機の撤出及び新設室外機の搬入は下記ルート参照
- 1、既設室外機フードの一時撤去
  - 2、フード部分の母屋の一時撤去（ボルト部分にて）
  - 3、搬出及び搬入
  - 4、フード部分の母屋の復旧（必要であればバッチングメタルの溶接）
  - 5、既設室外機フードの復旧

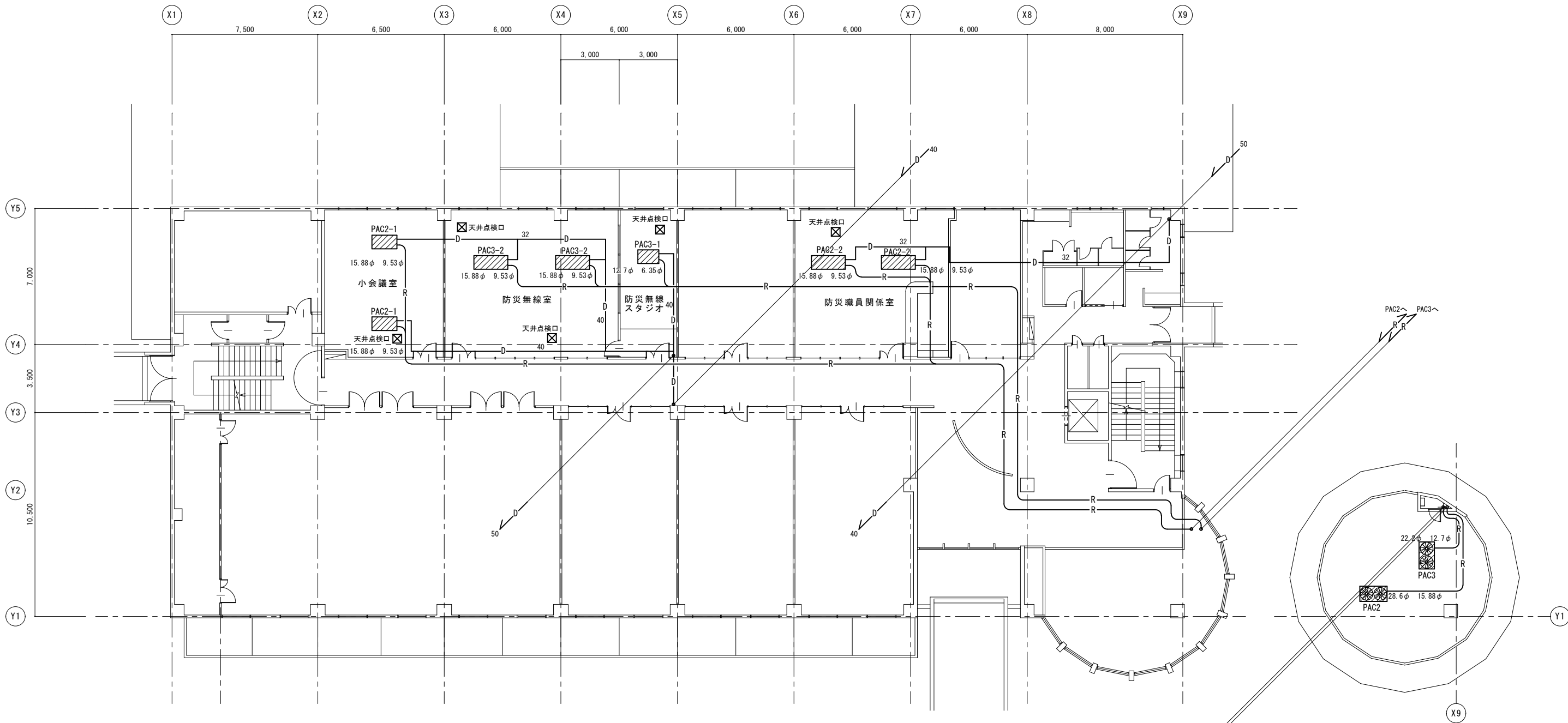


※揚重仮設は参考とし揚重エリア及び車両進入等の詳細（看板設置等）については監督員と協議とする。

工事名	丹生川支所 2階ビルマルチ空調改修工事		
図 名	配置図・案内図		
縮 尺	A2:1/600・200 A3:1/849・283	番号	5枚の内 2号
設 計 年月日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計		
	二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

原設計図  
【A2】

高山市



空調機器一覧表(既設)

記 号	仕 様	相一電圧 (φ—V)	動 力 (KW)	数 量	設 置 場 所		備 考
					階	室 名	
PAC2【撤 去】 室外機	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン。寒冷地仕様。冷房能力：35.5KW 冷媒仕様：R22（封入量：19kg） 外形寸法：幅1400、奥行785、高さ1645。製品質量：400kg	3-200	冷：14.4 暖：12.7	1	R	—	※品番：日立 RAS-J355FS 架台、フット
PAC2-1【撤 去】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：7.1KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.11 暖：0.10	2	2	小会議室	RC1D-J71KTJ
PAC2-2【撤 去】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：9.0KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.12 暖：0.11	2	2	防災職員関係室	RC1D-J90KTJ
PAC3【撤 去】 室外機	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン。寒冷地仕様。冷房能力：22.4KW 冷媒仕様：R22（封入量：13kg） 外形寸法：幅1400、奥行785、高さ1645。製品質量：305kg	3-200	冷：9.05 暖：7.97	1	R	—	RAS-J224FS 架台、フット
PAC3-1【撤 去】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：3.6KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.07 暖：0.06	1	2	防災無線スタジオ	RC1D-J36KTJ
PAC3-2【撤 去】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：9.0KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.12 暖：0.11	2	2	防災無線室	RC1D-J90KTJ

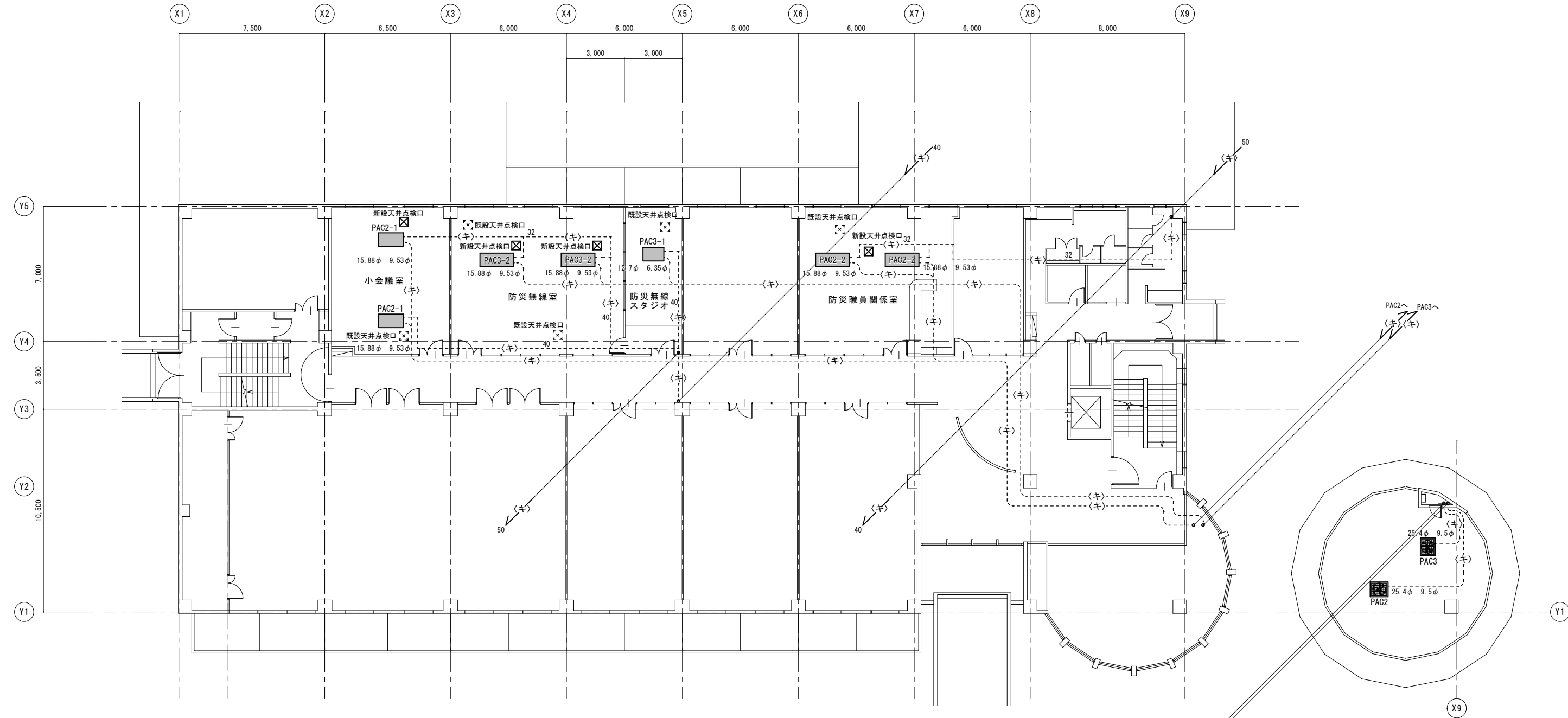
2階平面図(改修前) S=1：150

撤去機器を示す

R階平面図(改修前) S=1：150

工事名	丹生川支所2階ビルマルチ空調改修工事		
図 名	2階・R階平面図（改修前空調配管）		
縮 尺	A2:1/150 A3:1/212	番号	5枚の内 3号
設 計 年 月 日	令和 7年 7月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

原設計図  
【A2】



空調機器一覧表(更新)

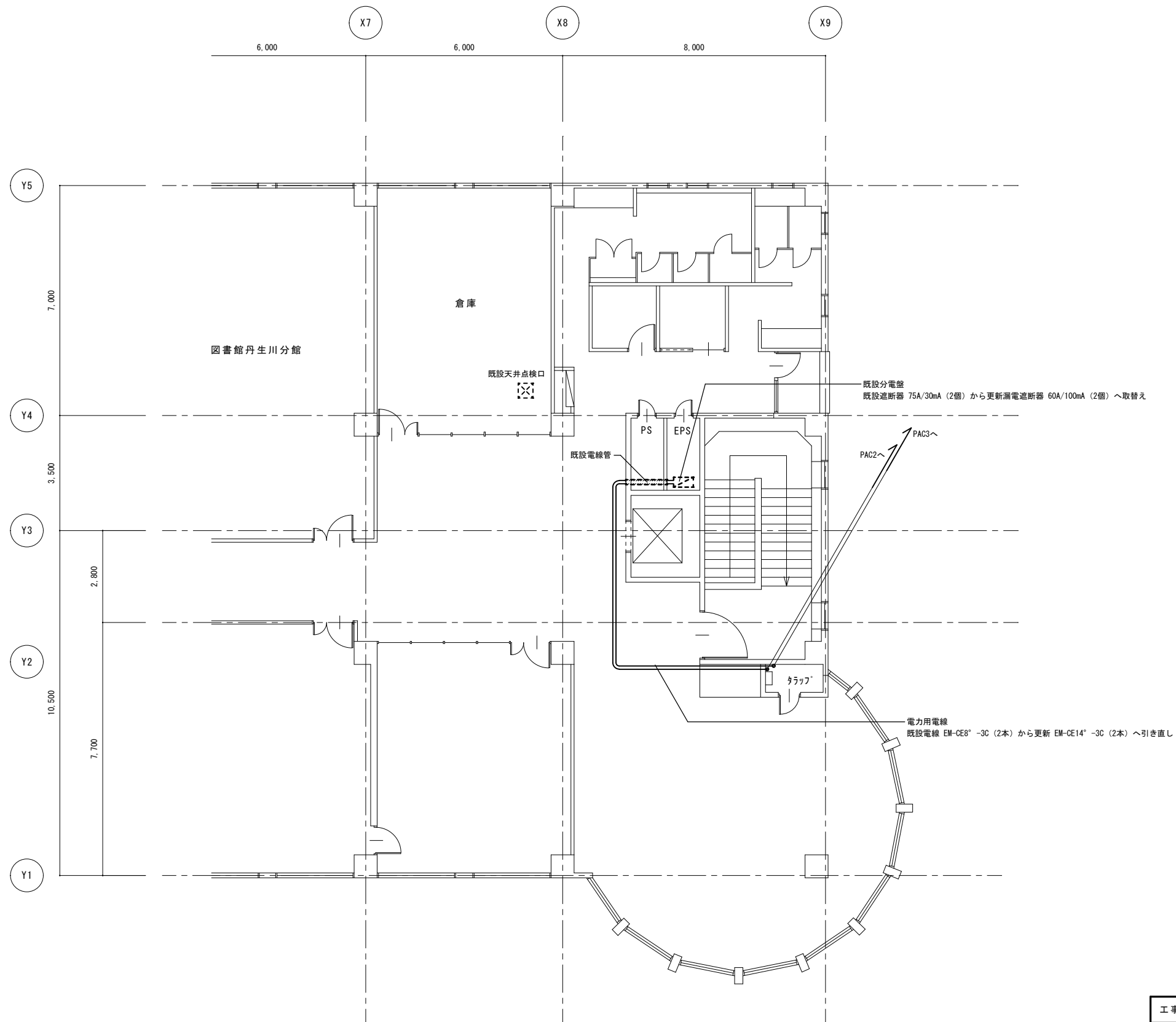
記 号	仕 様	相一電圧 (φ—V)	動 力 (KW)	数 量	設 置 場 所		備 考
					階	室 名	
PAC2【更新】 室外機	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン。寒冷地仕様。冷房能力：33.5KW 冷媒仕様：R410A（封入量：16.9kg） 外形寸法：幅930、奥行765、高さ1660。製品質量：234kg	3-200	冷：9.95 暖：12.7	1	R	—	※品番：ダイト同等品 RQYP335FC 架台、7-ド：既設利用
PAC2-1【更新】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：7.1KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.063 暖：0.06	2	2	小会議室	FXYCP71EB
PAC2-2【更新】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：9.0KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.09 暖：0.086	2	2	防災職員関係室	FXYCP90EB
PAC3【更新】 室外機	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン。寒冷地仕様。冷房能力：33.5KW 冷媒仕様：R410A（封入量：16.9kg） 外形寸法：幅930、奥行765、高さ1660。製品質量：234kg	3-200	冷：9.95 暖：12.7	1	R	—	RQYP335FC 架台、7-ド：既設利用
PAC3-1【更新】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：3.6KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.039 暖：0.035	1	2	防災無線スタジオ	FXYCP36EB
PAC3-2【更新】 室内機	天井カセット形（2方向吹出）。冷房能力：14.0KW 附属品：化粧パネル、手元リモコン、他一式	1-200	冷：0.149 暖：0.146	2	2	防災無線室	FXYCP140EB

2階平面図(改修後) S=1：150

- 更新機器を示す
- 既設配管を示す
- 新設天井点検口を示す
- 既設天井点検口を示す

R階平面図(改修後) S=1：150

工 事 名	丹 生 川 支 所 2 階 ビ ル マ ル チ 空 調 改 修 工 事		
図 名	2 階 ・ R 階 平 面 図 （ 改 修 後 空 調 配 管 ）		
縮 尺	A2:1/150 A3:1/212	番 号	5 枚 の 内 4 号
設 計 年 月 日	令 和 7 年 7 月		
設 計	て ら い 建 築 設 計 二 級 建 築 士 第 7424 号 寺 井 政 志		
高 山 市			



3 階電気設備図 S=1 : 100

工事名	丹生川支所 2 階ビルマルチ空調改修工事		
図 名	3 階電気設備図		
縮 尺	A2:1/100 A3:1/141	番号	5 枚の内 5 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

原設計図  
【 A 2 】